



構キツイ!) 宝永山へ向かう。山頂(2693m)に到着、山頂の雄大な富士の裾野を眺める。

昼食後、今日の宿を目指して、馬の背をひたすら登る、やがて霧の中に、(日章旗)と(わらじ館)の旗竿が見えてきた。漸く、到着する。休息後身支度と山話で時を過ごし、夕食のカレーライスを堪能した後は、何もする事が無いので、早々と床に着く。

所要時間 7:05



富士山遠景



宝永山火口



宝永山頂尾根



わらじ館

## ○7/15(月)

周囲の騒がしさに目が覚め、早立ちする。我々が出立すると、宿は空となった。外は少し霧が出ている。登山道を見上げると、ヘッドライトが点々と灯っている。風はあるが、寒くはない、小雨となってきたので、雨具を着る。岩礫の斜面を上り詰め鳥居を潜り、ようやく御殿場口頂上に到着する。バンザイ! 空が明け来たものの、生憎の天気で御来光は望めそうにない。

防寒着をはおり、休息した後、「お鉢めぐり」をする。暫くすると、霧がとれて、視界が良くなり、大内院も底まではっきりと見える。日本最高峰 富士山 剣ヶ峰(3776m)の山頂に、着き、全員で写真をとる。すばらしい山並みを展望し、小内院から御殿場口頂上に至る。(終わりがけに、朝食をとる。)



御殿場口頂上



バンザイ!



お鉢

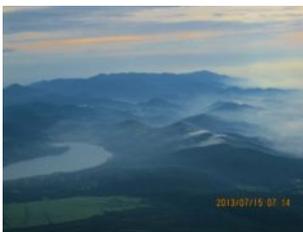


剣ヶ峰山頂

下山開始、雲行きが怪しくなり霰となる。途中「わらじ館」に立ち寄り、宿屋の主人と雑談に興じながら、砂走りの準備をする。いよいよ本日のメインイベント、下り6合から日本一の「大砂走り」へと入る。サングラス・ネック・フ・マク・スパッツ等をしっかりと装着する。

大砂走りは、歩く度に砂地に足が沈み、余り抵抗感を感じない面白い様に早く下りる事が出来る。最初は、恐る々歩く様に下っていましたが、周りの若者に煽られて走り出しました。六人並んで下り始めたものの、何時しかHさんと二人になっています。御殿場市街、箱根連山・駿河湾・宝永火口を一望して、一気に下る気分は、正に爽快です。次郎坊まで夢中で走り、双子山を右に見て、駐車場を目指しドンドン下る。11:05 大石茶屋に到着、漸く、無事に下りる事が出来ました。振り返って見ると、距離は勾配が緩くなってからの方が長く感じた。富士の裾野は広く長い。駐車場に着き、水分補給一息つく。今回の全行程終了! 又、山歩きしましょう!

所要時間 9:30



山頂道からの展望)



下山



大砂走り

参加者 6名